

2024年度 活動報告

刑務所・少年院出所者等の就労定着を支援し、

自立した生活と地域とのつながりを促進します

刑務所や少年院を出た後に、生活の場面や就職、アルバイトのなかで、
悩みをかかえることはありませんか？

「職場の人たちとうまく会話ができない」

「2、3年後のキャリアがイメージできない」

「昔の仲間に誘われて今の仕事をやめようと考えている」

「給料をもらおうとすぐに使ってしまう生活が苦しい」

「また同じことをしてしまいそうで誰かに相談したい」、など

そのような悩みをかかえる方々のために、全12回のプログラムを実施しました。
生活の場面での困りごとへの具体的な対処法や、先輩たちとの対話、専門的な講話など、
プログラムの場は和やかな空間、居場所となりました。
また、交通費の支給、ふうどばんく東北AGAIN様による食べ物の支援もいただきました。

宮城県刑務所出所者等就労・定着ネットワーク事業とは？

宮城県内の働き続けることに課題を抱える刑務所等出所者の就労・定着を目指すネットワーク事業
「リ・トライ！」

日本財団の助成により、法務省保護局の協力の下、宮城県就労支援事業者機構、職親プロジェクト宮城支部、仙台保護観察所を始めとする県内の更生保護関係機関等と連携し、宮城県内で働き続けることに課題を抱える刑務所出所者等の就労・定着を目指す、ネットワーク事業です。

本事業は、刑務所出所者等の就労先確保と職場定着を目的とした事業で、現在宮城県内で職親プロジェクトに参加している企業や、協力雇用主の下で勤務する対象者が、継続して安定した雇用のもと、自立した生活の実現に向けて、必要な相談ができる居場所や、教育、研修の機会を設けるものです。

また、本事業は、中長期的には、企業等で就労する者だけではなく、犯罪や非行につながる生きづらさを抱えた人達全般を対象とした居場所づくりを念頭にしたもので、刑務所出所者等に対する地域支援ネットワークの構築につながる取り組みであり、国の再犯防止推進計画が目指す“息の長い”支援の実現にも寄与するものです。

更生保護関係団体だけでなく、地域の様々な機関、宮城県就労支援事業者機構、職親プロジェクト宮城支部、仙台保護観察所を始めとする県内の関係各機関等と連携ネットワークを構築し、個別の就職活動及び職場定着の支援に加えて、主に、協力雇用主の許で就労する者を集めて計画的な教育活動のほか、適切な余暇や趣味などにつながる体験活動等を実施する居場所作りを行い、職場定着支援の一層の充実を図ります。

【関係機関連携ネットワークに関する取り組み】

- 行政機関並びに更生保護及びその他民間団体等との連携構築
- 採用者(出所者・出院者)に対する支援
- 連携事業参加企業支援
- 連携事業参加企業増加に向けた取り組み

